



第37号

発行 「奈良市自治連合会
だより」編集委員
発行部数 13,500部

市との連携で地域課題の解決をめざす

—令和7年度 奈良市自治連合会総会—

基盤組織である自治会の活動を支援し、協働して課題解決に努めるとともに地域各種団体・行政と連携のもと、地域自治の仕組みづくりを進めよう。

令和7年5月21日（水）、はぐくみセンター9階大講座室にて奈良市自治連合会総会を開催しました。

会員総数49名のうち委任を含め出席総数49名、奈良市自治連合会会則第6条の規定により本会議が成立するとの報告があり、審議に入りました。

令和6年度活動・決算・監査報告があり、令和7年度役員・監事・活動計画案・予算案について、すべて原案通りに承認可決されました。

令和7年度も奈良市自治連合会は、地区自治連合会相互の連携を図り、その中心的存在として連合体機能を発揮しつつ、更なる「地域自治協議会」設立への取り組みを通して、各地区自治連合会から“頼りになる”存在となることを目指します。

また、各地区自治連合会や行政が抱える課題の解決に向かって、必要に応じた取り組みを行うなど、市と地域を円滑に連携するための役割を果たすこととします。

令和7年度 活動計画（抜粋）

1. 「地域自治協議会」の設立及び推進へ、諸施策の促進

「地域自治協議会推進部会」は、役員会終了後の開催を継続し、設立地区及び準備地区並びに希望する後継地区の参加で、出てきた課題、その解決策などを議論します。協議経過は定例会において報告し、各地区自治連合会の共通認識を高めて設立への機運の醸成を図ります。

2. 奈良市自治連合会の運営改善

会長・副会長はじめ各役員について、その分掌業務を明確にし、各役員が自発的・積極的に職責を果たすなど集団で運営する体制を進めることとします。

ブロック長は、ブロックのメンバーが各地区の課題を共有できるように努め、課題解決に向けブロック内で協議し、全地区で共有・検討できる課題は奈良市自治連合会で取り組みます。

3. イコールパートナーとしての参画と協働

行政が抱える全市民的な重要課題について関心を高め、状況把握のうえ市民目線で進捗のための取り組みを引き続き行います。

これからのまちづくりに想うこと

奈良市自治連合会 会長 作間 泉

今年度5期目の自治連合会長を拝命いたしました作間でございます。

平素は自治会活動・自治連合会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

これからのまちづくりに対して想うことですが、社会情勢もアナログな時代から、高度な情報社会へと移行していることを踏まえ、我々も新しい地域活動の仕組み作りを真剣に考えていかねばならないと思います。

奈良市自治連合会では、地域課題検討部会を中心に自治会活動・自治連合会活動の課題を抽出するとともに、課題解決に向けた新時代に即した方策を検討することを第一の優先として進めております。

ICTの活用等、誰でも簡単に情報を共有できるツールを用いた仕組みづくりや、若い方が参画し易い楽しい魅力的な地域活動を目指しオール奈良で取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

『自治会活動の手引き』

—令和7年度版お手元へ—

奈良市自治連合会では、自治会活動の指針となるものとして、今年も「自治会活動の手引き」を発行し、市内全自治会に配布させていただきました。

「自治会活動の手引き」は、自治会交付金や届出について等、自治会に関する情報とともに奈良市公式ホームページに掲載されています。右のQRからご覧いただけます。



地域自治の推進と課題解決に向けて

地域自治協議会推進部会

長きにわたり地域自治協議会設立推進に大変ご尽力いただいた吉岡部会長から引き継ぎ、今年度より部会長に就任いたしました。

吉岡部会長の施策を引き継ぎつつ、新しい発想も取り入れ、地域自治協議会推進に向けて取り組んでまいります。

令和7年7月現在18地区の地域自治協議会が立ち上がっていますが、立ち上げた協議会にも課題が多く持ち上がってきています。それら課題の一つ一つを解決に導きながら、地に足をつけて推進していきたいと思ひます。

また、地域づくりコーディネーター（市担当課職員）が、各種団体へアンケートやヒアリングを行ってくださったことにより地域自治協議会の推進について様々なご意見をいただきました。それらのご意見を真摯に受け止め、対話と協調・協働によりご協力をいただき、一致団結して取り組んでいこうと考えています。

地域自治協議会のメリット・デメリット等を詳らかにして広く周知し、推進していく所存です。
（部会長：作間 泉）

地域課題検討部会

令和7年度は「地域における自治会の役割と担い手を確保する対策」について7月からワークショップを開催しています。

自治会は地域住民が自主的に組織し、地域社会の諸問題を解決するために活動する団体です。目的は住民同士の交流を深め、地域の安全や生活の質の向上させることにあります。自治会は地域の決めごとやルールづくりにも関与し、住民の意見を集約して行政に伝える役割も果たします。

また地域の安全と暮らしやすさを向上させるために、さまざまな活動を行っています。特に注目すべきは、防災活動と地域の安全確保です。定期的に防災訓練を実施し、地域住民が緊急時にどのように対応すべきかを周知しており、地震や台風などの自然災害が頻発するため非常に重要です。

住民一人ひとりが防災意識を持つことで地域全体が大きく向上します。

（部会長：土井 実）



令和7年度 奈良市自治連合会 会員名簿

ブロック	地区名	会長名	役職	ブロック	地区名	会長名	役職
中部Ⅰ (5地区)	飛 鳥	平島 幸徳		奈良西 (12地区)	学園南	温井 久男	副会長・ブロック長
	済 美	池口 光隆	会計・ブロック長		富雄南	上谷 勝	
	済美南	長谷川憲二	事務局長		奈良 帝塚山	小嶋 勉	
	鼓 阪	平野 康隆			学園三碓	柳瀬 純子	
	佐 保	岡崎 忠直			登美ヶ丘	武智 一記	
中部Ⅱ (4地区)	椿 井	尾形季久雄			東登美ヶ丘	河野 良彦	副会長
	大 宮	長本 晶夫			平城西	虫本 和仁	
	佐保川	金野 秀一			鶴 舞	階戸 幸一	
	大安寺西	古谷 頼和	ブロック長		二 名	畝山 政男	
南 部 (6地区)	東 市	紀平 寛治		青 和	日夏寛次郎		
	明 治	野口 隆身	副会長	富 雄	大谷 廣信	副会長	
	辰 市	土井 実	副会長・ブロック長	鳥 見	山田 昌彦		
	帯 解	六十谷 進		東 部 (6地区)	田 原	南 善嗣	ブロック長・監事
	精 華	吉崎 弘俊			柳 生	大窪子保治	
	大安寺	市川 恵一			大柳生	東浦 光昭	
西南部 (7地区)	伏 見	山口 誠	ブロック長		東 里	佐野 勝彦	
	伏見南	池田 慎久			狭 川	東田 和臣	
	西大寺北	桐山 元			月ヶ瀬	東 正彦	
	六条校区	舛川 隆雄		北 部 (5地区)	神 功	朝田 眞史	
	あやめ池	高西 信治			右 京	熊本 國勝	
	都 跡	堂上 健次	監事		朱 雀	作間 泉	会 長
平 城	井村 誠之		左 京		田中 明	ブロック長	
			佐保台		川本 了造		
(中部Ⅱ)	(大宮)	吉岡 正志	顧問	都 祁 (4地区)	並 松	今西登志也	
(令和7年9月現在)					吐 山	大西 均	ブロック長
					都 祁	福井 英志	
					六 郷	森田 公良	





自治会の役割を再認識しつつ負担軽減を —自治会長研修会—

6月29日（日）奈良市役所正庁において自治会長研修会を開催し、昨年度に引き続き今年度も約300名の方にご参加いただきました。

参加者アンケートへのご協力にお礼申し上げますとともに、参加者アンケートでいただいたご意見等は、検討課題とし、次の研修会に生かしたいと考えております。

平素は、本会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。また、自治会活動にも汗を流し、防災・福祉や環境整備にわたるまでご尽力をいただき大変感謝申し上げます。

奈良市自治連合会として、この研修会は、自治会長の皆様の生の声を聴く絶好の機会であり、大切だと思っています。

たくさんのご参加をいただき誠にありがとうございました。

さて、下のグラフにあるように、自治会活動においてご負担に思われている多くが、毎年同じような課題になっております。会議や行事の開催については、各団体

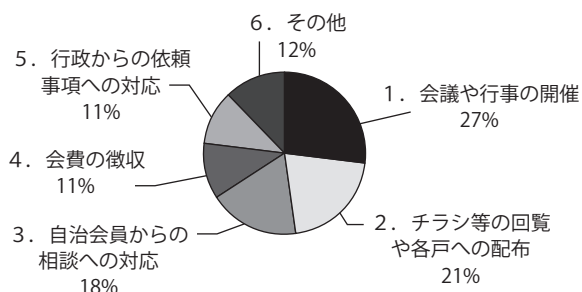
の会議をまとめて一回にして開催している地域があります。地域自治協議会を設立している地域に多いと思われませんが、そのほかの項目についてもどのようにすれば合理化を図れるか、ご意見として重く受け止め、負担軽減策を協議・検討してまいりたいと思います。

次に、自治会の機能として、最も重要だと思うものについては、62%の方が防災防犯機能、19%の方が環境整備機能と回答されました。これについても、行政も含めしっかりと支援体制の構築に努めていきます。

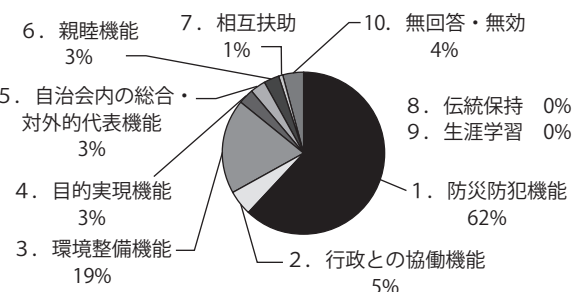
その他、質疑応答でも貴重なご意見を賜りましたので、関係各課と調整を図り、円滑な自治会活動の運営に向けて支援していききたいと思います。

自治会長研修会参加者アンケート（インターネット回答含め213回答）

自治会活動を行う上で負担になっているものは何ですか。（複数回答）



自治会の機能として、最も重要だと思うものを1つ選んでください。



自治連合会OBの

今だから言えるコト

飛鳥地区 久保 英雄さん

令和4年に奈良市自治連合会副会長を辞任し、早や3年が経ちこの7月で78歳となりました。

今、振り返りますと、世界的な感染症拡大の中、新斎苑旅立ちの杜建設問題、飛鳥地区自治連合会組織強化、あすか地域自治協議会設立、新しいまちづくりなど、走りながら勉強させていただいたことが良き思い出となっています。

ある新聞の記事に目が止まりました。それは、『高齢者、「決めること」から卒業』。即ち、「ちょっとしたこと」で腹を立てたり、他人を叱ったり、ボランティア活動などでリーダーシップをとって他人に命令

したりすることから卒業を!」。なるほど! と共感しました。

今は出来るだけ「どちらでもいいよ!!」と「サメテガル（仏語でどちらでもいいよ）」的な発言をするよう心がけています。これからは「おまけで頂いた人生」。介護施設、地域老人クラブ、地域イベントなどに演奏仲間9名と音楽活動に邁進しております。

昭和の懐かしい心に沁みる歌を演奏し、聴き、歌い、若きころを思い、笑い、涙していただいています。また、我々も元気をもらっています。

これからも奈良市自治連合会の更なる結束と発展を期待しております。

※演奏依頼は、奈良市ボランティアセンターにお問い合わせ下さい。グループ名「G&G」

※参考：樋口 裕一 『70すぎたら「サメテガル」～「老害」にならない魔法の言葉～』（小学館新書）

わがまち自慢

— 地域紹介 —

地域で支える安心・安全な街づくり

左京地区自治連合会

左京地区は、2025年4月1日現在2,533世帯5,935人の街です。

奈良市北部の平城ニュータウン開発により1983年後半に入居開始、約42年の歴史があります。

1993年に朱雀・左京自治連合会から分離し、左京地区自治連合会が組織化されました。

7つの自治会とオブザーバー参加左京団地自治会で構成されています。

左京地区自主防災防犯部会も自治連合会部会として活動しています。

少子高齢化、自治会加入率低下による地域コミュニティの希薄を受け、地域団体が協力して街づくりを進めるため、2019年には自治連合会が主導をして地域4団体を中心に左京地区地域協議会を設立しました。

自治連合会活動として、自治会長連絡会、役員会、左京祭り実行委員会、ふれあい会館運営部会、自主防

災防犯部会等を随時開催しています。

主なイベントは「さくら祭り：3月」「ふれあい清掃：5月・12月」「防犯パトロール：7月・12月」「子ども園芋堀：10月」「自主防災訓練：11月」等、地域に寄り添った活動を行っています。

左京地区一大イベントの「左京祭り」は、毎年10月開催に向け、左京祭り実行委員会を自治会中心に立ち上げ、「子どもたちの思い出づくり」をコンセプトに内容を詰めています。「こども神輿」「各種ゲーム出店」「SSS吹奏楽団」「各団体踊り」「お茶・綿菓子・ポン菓子」「キッチンカー来店」等、盛り沢山の構成で運営しています。

左京地区内に懸垂幕を2ヶ所設営し、イベント情報、防犯・防災活動情報を告知し「安心・安全な街づくり」を目指した活動を伝えています。



左京祭り2024年

都祁のまちづくり協議会

都祁（並松・吐山・都祁・六郷）ブロック

私たちの住んでいる都祁地域（旧都祁村）は、20年前に奈良市と合併し、現在に至っております。

この度紹介させていただく「都祁まちづくり協議会」は、地域間交流・地域発信・振興などを図り、都祁地域の声を奈良市に届けるとともに、まちづくりについて協議を行い、奈良市の発展に資することを目的に設置されました。組織は、自治連合会長をはじめ連合会長経験者と有識者で構成し活動しています。本年4月より、都祁地域内にある市の3施設【都祁交流センター・体育館・生涯スポーツセンター】の指定管理者として管理運営しています。

協議会では、色々な地域振興イベントを企画・運営を行っています。先般の7月6日（日）に、男子プロバスケットボールB2に所属するバンビシャス奈良のプロ選手を迎え都祁体育館で「いきいきスポーツつげ高原バスケットボール教室」を開催しました。都祁地域内外の小学生から中学生まで約40人が参加し

交流を深めていただきました。教室は、バンビシャス奈良の石井峻平選手・坂口竜也選手にシュートやドリブルといったボールの扱い方などを教えていただき、最後は選手も交えて試合を楽しんでいただきました。このイベントは、7月9日（水）の奈良新聞に紹介されました。今後もこのような交流事業を継続実施していきたいと考えています。

まちづくり協議会は指定管理者として慣れないところが多々ありますが、奈良都祁をより多くの方に知っていただくために本年3月にホームページ『つげまろ日記』を開設しました。今後とも都祁地域の発展と活性に努めてまいりたいと思っております。



さあ試合だ！

編集
後記

体温を越える最高気温が記録される毎日。夏恒例の行事や催しも熱中症対策を余儀なくされ、中止や縮小が続いています。今年、わが地区では移動出来るミスト発生機を購入。夏祭りで活躍。電気は必要無く水道ホースのみ。出来る様に考え実施する。「ピンチは大チャンスに変える」を実感。